

平成 26 年 7 月 7 日

## 田辺市消防団 活性化推進委員会 活動について

平成 17 年 5 月の市町村合併により、5 つの消防団が統合されました。

田辺市消防団は、1,027 平方キロの広大な面積を女性分団を含め 31 分団、約 1,000 名の団員で構成されております。

地域実情が様々あり、平成 18 年から「魅力ある消防団作り」を目指した中で、諸問題について検討しております。

現在は、活性化推進委員会 2 期目として、様々な課題を検討してまいりました。

### ・田辺市消防団・まちのPR。

田辺市は平成 17 年 5 月 1 日に 5 市町村による合併が行われました。

総面積は約 1,027 km<sup>2</sup>で和歌山県全域の 22%を占める広大な圏域となっています。

平成 16 年 7 月に世界遺産に登録された『熊野古道』の他、日本三大美人湯の龍神温泉、日本最古の温泉と言われる湯の峰温泉、川原を掘れば温泉が湧き出す川湯温泉など多くの温泉があり、観光都市として多くの観光客で賑わっています。

消防団については約 1,000 名の団員が活動していますが、合併前の旧市町村単位を支団と位置づけ、合併前同様地域に密着した活動を展開しています。

### ・田辺市消防団活性化検討委員会設置の背景・経緯・内容について

消防団の現状を見ると、地域においては過疎化の進展などに伴い若年層が減少したことなどにより団員の確保が困難となっており、それが団員の高齢化にも繋がっている。

しかし、大規模災害時、特に田辺市においては近い将来発生が予想される東南海・南海地震発生時において消防団の役割は極めて重要であることから、入団して頂きたい若い人にとって魅力ある消防団にするため、平成 18 年 9 月、団長の諮問機関として若手中堅団員 13 名による田辺市消防団活性化検討委員会を設置した。

委員会で検討した結果、魅力ある消防団づくりの基本指針として以下の 6 項目について答申がなされた。

1. 消防団の確保対策
2. 消防団員の処遇改善
3. 女性消防団員の採用
4. 消防団の施設・装備
5. 訓練と教養
6. 地域との連携

上記の答申を具体化するため、田辺市消防団活性化推進委員会を設置し、下記の各種施策を展開している。

**消防団活性化推進委員会 第1期**（若手を中心として各分団から1名 30名）

H21.10.1～H23.9.30

- ・安全装備品の支給（雨合羽・火災現場用のしころ付ヘルメット）
  - ・団員確保対策として、広報誌やホームページを通じて消防団のPRを実施
  - ・女性消防団員の採用（女性分団の設置：平成21年4月1日）応急手当の普及啓発、予防広報を中心に活動
- 救急医療週間及び火災予防運動中の街頭広報、幼稚園での紙芝居の実演、その他各種イベントにおける消防団のPR活動を実施

**消防団活性化推進委員会 第2期**（若手を中心として各分団から1名 30名）

H24.8.1～H26.7.31

- ・消防団員の処遇改善として、年報酬の見直し
- ・消防団確保対策として、機能別消防団の導入
- ・訓練と教養及び地域との連携として、消防団員の訓練強化制度の導入

苦勞した点については、5つの市町村が合併しているため、地域によって団員の考え方等に温度差があったことである。しかし会議を重ねるにつれ、積極的かつ前向きな議論がなされた。